



福島小学校だより

# ふくしま

ホームページ <http://www.wakayama-wky.ed.jp/fukushima/>

No. 12

令和5年2月28日



## ～六年生の俳句より～

卒業式 桜舞い散る 春風よ 小学校 散る葉のように 終わっていく  
 入学式 桜散る中 笑みうかぶ 入学式 制服姿 楽しみだ  
 6年生3学期の国語の学習で「心が動いたことを十七音で表そう」という俳句の学習があります。ふだんから俳句を作ったり感想を伝えあったりして言葉の感覚を磨いてきた6年生の作品です。

3月是一年の締めくくりの月です。6年生にとっては卒業という大きな節目を迎える月、他の学年もこの一年間を振り返り自分の成長の足跡をしっかりと見つめ、4月からの新たなスタートに向けての目標を立てる月です。子どもたち自身が成長をしっかりと実感できるようまとめをしていきたいと思っています。

卒業式に向けて、玄関を始め廊下、階段の掲示板には各学年が工夫を凝らしたお祝いの作品が掲示されてきました。6年生は卒業式に向けて「卒業生の言葉」の制作と練習に励んでいます。2月中には2回校内の掃除やペンキ塗りをしてくれました。

2月28日(火)1限には「6年生を送る集会」を開催しました。1年生から5年生までの子どもたちは、お世話になった6年生に「感謝の思いを伝えよう」を合言葉に、手紙やプレゼントを手渡したり、歌やダンスを発表したり、6年生一人一人の写真や名前を大きく写したりしてお祝いしました。花のアーチをくぐって歩く6年生にとって、思い出に残る素敵な集会になったと思います。計画運営してくれた5年生の子どもたちは、既に6年生からバトンを受け継ぎつつあります。

## 不審者対応避難訓練から学んだこと

2月24日(金)、北警察署生活安全課の警察官の方をお迎えして、不審者対応避難訓練を実施しました。不審者が侵入した場合、「担任の指示をしっかりと聞く」「教室を旋回して、廊下側から離れ教室内でかたまって静かに待つ。出入り口だけでなく窓近くもバリケードで防ぐ」等「子どもたちが状況に応じて、安全で適切な行動ができる」ようにふだんから訓練しておくことの大切さを実感しました。

訓練の最後には、全員体育館に避難し、警察の方のお話を聞きました。「落ち着いて先生の指示に従う」「静かに待つ」ことが大切だと教えていただきました。また、登下校の時や、放課後の安全について「いかにおすし」や「きしゅう君の家」の復習もしました。校長 中村祐佳子

### 3月の学校行事予定です。

|                                    |                                        |                    |
|------------------------------------|----------------------------------------|--------------------|
| 1 (水) 交通・挨拶指導<br>委員会(引継ぎ) 15:10頃下校 | 13 (月) スクールカウンセラー来校                    | 24 (金) 終業式         |
| 6 (月) 引き落とし日 集金日                   | 16 (木) ALT来校                           | 31 (金) 離任式         |
| 7 (火) 6年お別れ遠足                      | 17 (金) 卒業式準備(4・5年)<br>(1・2・3・6年は給食終了後) | 4月                 |
| 8 (水) 河北中学校卒業式<br>卒業式会場準備(5年1・2限)  | 13:20頃下校)                              | 10 (月) 始業式         |
| 9 (木) 校外児童会(6限) 15:00頃下校           | 20 (月) お別れ式 卒業式                        | 11 (火) 入学式         |
|                                    | 21 (火) 春分の日                            | 12 (水) 給食開始(新2～6年) |
|                                    |                                        | 19 (水) 給食開始(新1年)   |

振り返ってみると、半年間で

## いろいろなものを作りました

ここでは作ったものを紹介していきたいと思います。

まずは、すみと水彩絵の具で描いた柿の絵。とがらせたわりばしの先につけたすみで線の太さや濃さを調節するのに苦労しました。また、色は絵の具を薄いものから順にぬっていきました。重ねていっても結局、水でにじんで一色に見えてしまった作品も・・・。



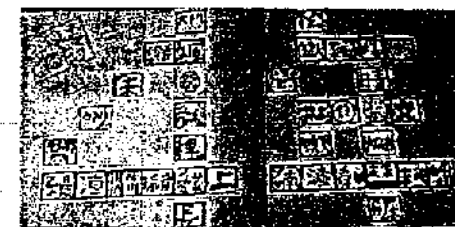
柿の絵



夜に見るとちょっと怖い  
カオナシの案山子

みんなで作った案山子。グループに分かれてその中で、体や顔、小道具などの分担を決め、それぞれがうまく見せようと努力しました。小倉園のかかしコンテストで銅賞に入る出来になりました。今は校長室に飾られています。

一人一人の個性が光った判子作り。完成予想図を考え、判子用の消しゴムに写し取り彫刻刀で少しずつ削り落としていきま



判子でかいた「4年」の文字

した。残したい所を切り落としてしまった子も。

布を切って作った貼り絵。自分の考えに近い色の布を切って形を整え、画用紙にはり、一つの作品にしていきました。のりが上手くくっつかなかった所も・・・。



赤から紫まで虹色の水

それぞれのお気に入りの色ができた色水作り。「赤」「青」「黄」の3色の水を用意し、好きな割合で混ぜてみていろいろな色の水を作り



実際に泳いでいるかのように  
水槽を背景に

ました。「エメラルドグリーン」が好きな子、海の色をうすめたような「水色」が好きな子、一見とってもおいしい炭酸飲料のような「茶色」が好きな子も。

心を落ち着かせるお守りを紙粘土で作りました。紙粘土に絵具を混ぜて色粘土を作り、お守り作りにチャレンジ。キャラクターを作る子、マスコットを作る子、心の中の様子を表現する子もいました。

図工と一言で言っても、いろいろな作り方、表現のしかたがありますね。次は、どんな材料で、どんなものを作るのかな。 (4年生)